

ゆし! のひろげ



宮古島市教育委員会
広報誌

第13号

2014/7/16発行

個性豊かな文化をはぐくみ、一人ひとりが輝く島

特集 学校規模適正化基本方針見直しについて

夏休みには図書館へ行こう!



CONTENTS

- 図書レポ
- 教育委員会 史跡巡り
- Topics
(財)下地玄信育英会 寄付金贈呈
- わだいの広場

平成26年度海外ホームステイ事業補助金交付式



連載1 パニパニ☆スクール

- 福嶺中学校「新エネルギーを学ぼう」
- 下地中学校「ゴマの可能性を探る」
- 市長より図書贈呈



連載2 文化財を巡る

神様と鬼の知恵くらべ 鬼の杵、神の杵

特集 学校規模適正化基本方針見直しについて

平成26年6月26日に開かれた第3回教育委員会定例会において「宮古島市立学校規模適正化基本方針の一部見直し(平成25年4月決定)の一部見直し」の議案が可決され、伊良部地区の学校規模適正化に関する時期及び方法が見直されました。

今回の一部見直しは、「学校規模適正化に関する要請書(伊良部の新しい学校をつくる会)」、「小中一貫校の早期設置についての要請書(伊良部小学校PTA)」からの小中一貫校の実現等の要請を受けたことによるもので、伊良部、佐良浜地区で説明会を実施し、教育委員会定例会で審議した結果、全会一致での可決となりました。

見直し前

- 佐良浜中学校と伊良部中学校を平成31年度に1校に統合する。(新設)
- 佐良浜小学校と伊良部小学校については、児童数の推移や中学校の推移を見守り、統合の時期について速やかに決定する。



見直し後

- 佐良浜小学校・伊良部小学校・佐良浜中学校・伊良部中学校の4校を平成29年度を目処に1校に統合する。(新設)
- 新設校は、小中一貫校とする。
- 幼稚園については預かり保育を実施する。

小中一貫校について

1. 小中連携・小中一貫教育とは?

「小中連携」と「小中一貫教育」とは、制度的に位置づけられているものではなく、全国の学校、市町村において、小学校における教育と中学校における教育を円滑に接続させるために、独自に取り組みが進められているものです。

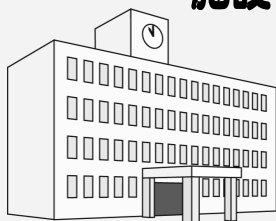
小中連携 ... 小・中学校がお互いに情報交換、交流をする事等を通じ、小学校教育から中学校教育への円滑な接続を目指す様々な教育。

小中一貫教育 ... 小中連携のうち、小・中学校の9年間を通じた教育課程を編成し、それに基づいて行う系統的な教育。

小中一貫教育は大きく次の2種類(施設一体型、施設分離型・連携型)に分けられます。



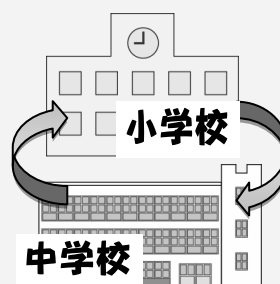
施設一体型



小・中学校

同じ敷地内で、小学校1年生から中学校3年生までが一緒に学校生活を送ります。

施設分離型・連携型



中学校

小学校

近隣の小学校と中学校で、施設は別々で、教員や児童生徒が移動して学習したり、活動したりします。

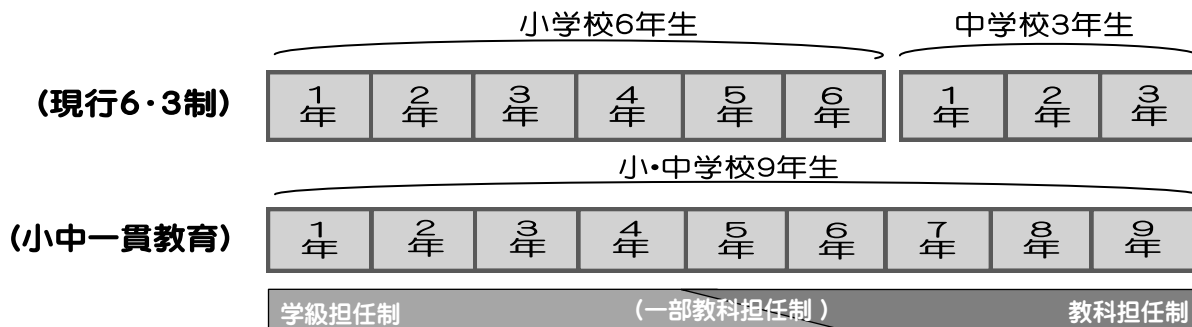
2. 教育課程

小中一貫教育を実施する小・中学校では、児童生徒の発達の状況等を踏まえ、小学校6年間と中学校3年間の合わせて9年間の教育課程を「4・3・2」「5・2・2」等と便宜的に区分し直し、区分ごとに教育活動の目標を設定するといった取り組みが見られます。

小学校6年生と中学校1年生を同一区分としている自治体が多く、小学校段階から教科担任制への緩やかな移行を図る取り組みを行って、小学生の中学校進学にあたっての不安感を軽減し、中学校での学びの意欲を高め、学校段階間の円滑な接続が確保出来ると考えられています。

また、このような場合でも、児童生徒の成長にとって、学校生活の節目が好ましい影響を与えるとの考えに基づいて、小学校の卒業式や中学校の入学式等の節目になるような行事は行いながら、教科等の教育活動は「4・3・2」など、子どもの発達に合わせた学年区分に基づき行うような、両方の良さを生かす方法も考えられます。

現行の6・3制と小中一貫イメージ図



3. 教育課程特例校制度

「教育課程特例校制度」とは文部科学大臣の認可を受け、当該学校又は当該地域の特色を生かした特例の教育課程を編成して教育を実施することが出来る制度です。

教育課程特例校の申請にあたっては、原則特別の教育課程を実施する予定の前年度に行うことになっています。

平成25年4月1日現在の実施例として小学校低・中学年から英語教育が行われているのは161件、1,594校となっています。

4. 今後の流れ

市教育委員会の学校規模適正化基本方針が、「佐良浜小学校・伊良部小学校・佐良浜中学校・伊良部中学校の4校を平成29年度をめぐりに1校に統合する。(新設) 新設校は小中一貫校とする。幼稚園については預かり保育を実施する。」と見直されたことで、伊良部地区で統合協議会を設置します。

統合協議会は保護者代表者、地域代表者、学校代表者、各団体代表者、教育委員会で構成されます。

その統合協議会で、学校の用地、校舎の機能、校章、校歌などさまざまなことを話し合って決定していきます。

5. 県内での小中一貫校紹介

名護市立小中一貫校「緑風学園」(久志小学校・久志中学校)

名護市の緑風学園では小学校6年間、中学校3年間計9年間で前期ブロック4年(小学1～4年)、中期ブロック3年(小学校5・6年、中学校1年)、後期ブロック2年(中学2・3年)に分け、「やさしく、たくましく、英知を磨く緑風の子」を教育目標に教育実践を行っています。



前期ブロック

学校担任による、きめ細かな指導、繰り返して学ぶ事を大切に、「学びの基礎」及び「育ちの基礎」を育む。

- 学びの習慣
- 仲良くあそぶ力
- よさの発見

中期ブロック

人とかかわりを豊かにし、自己の目標に向かう自主的な態度を育成し、個性・能力の伸長を図る。

- 学び方の習得
- 支え合い・気づく力
- よさの伸長

後期ブロック

将来への希望・目標の実現に向けた自学自習の態度を育成し、個性・能力の一層の伸長を図る。

- 自立への学び
- 集団を高め合う力
- よさの発揮

図書しぽ No.3



夏休みには図書館へ行こう！

各図書館からのおすすめを紹介します



いよいよ待ちに待った夏休みですね。夏休みだからこそ読める長編や親子で楽しめる本、読書感想文や自由研究の参考になる本などを友達同士・親子で探しに行きませんか？

図書館へ足を運ぶ前に、今回は各図書館から夏休みに読んでほしい本を紹介！読みたい本に出会う参考にしてください。そして、図書館で素敵な1冊を見つけて下さいね。

がっこうにヤギがきた！

著/長谷川知子
発行/新日本出版社



朝礼で校長先生が「学校で動物を飼います。どんな動物がいい？」まともでない意見に校長先生が決める事に…。さて、どんな動物がやってくるのか？

ニコとニキ

著/あいほろゆめき
発行/小学館



双子のニコとニキは魔女学校に通うウサギの女の子。夏のキャンプ大会に苦手なパトリシアと同じチームに！？はたして3人は無事にキャンプ出来るのでしょうか？

しずくちゃん14 ハイサイ！沖縄めぐり

著/ぎぼりっこ
発行/岩崎書店



沖縄へ遊びに行ったしずくちゃん。沖縄のお菓子を食べたり、首里城行ったり、伝統的な着物を着たり、シーサーも作って…。沖縄豆知識や間違い探しも掲載した絵本。

つみきのいえ

絵/加藤久仁生 文/平田研也
発行/白泉社



水が増え続ける土地でつみきのように家を積み上げ、一人で暮らすおじさん。彼にはこの土地を離れられないわけがあるのです…。

しゅくだいさかあがり

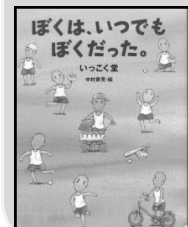
著/福田岩緒
発行/PHP研究所



夏休みに出されたさかあがりの宿題。何度やっても上手くいかず友達に入つ当たりをしてしまう。諦めかけていたけれど、もう一度やってみようかな…。努力する事の大切さを描いた作品。

ぼくはいつでもぼくだった。

著/いっこく堂
発行/くもん出版



プロの腹話術師いっこく堂。その明るく笑いに満ちたショーは世代や国境を越え多くの人を魅了している。しかし、少年時代の彼は決して明るいだけの毎日過ごしていたわけでは無かった。

ふしぎ駄菓子屋 銭天堂

著/廣嶋玲子
発行/偕成社



ふしぎな駄菓子屋で売っているふしぎな駄菓子が持つパワーとは？女主人紅子が今日もお客さんの運命を駄菓子で翻弄する。

テレビのむこうの謎の国

著/エミリー・ロッタ
発行/あすなろ書房



クイズ「さがしものチャンピオン」に出場ませんか？最新ゲームの画面に現れた奇妙な招待。戸惑うパトリック少年を待っていたものは？

沖縄の大研究

著/屋嘉宗彦
発行/PHP研究所



色とりどりのハイビスカス、魔除けのシーサー、宮廷料理だったちんすこつ。沖縄のユニークな自然、文化、歴史を探る！

ダッシュ！

著/村上しいこ
発行/講談社



平凡でパツとしない主人公が、所属する陸上部の次期キャプテンに指名され、キャプテンという立場に悩みながら一生懸命青春を駆け巡る。

ヒストリユ

編集・発行
琉球新報社



琉球・沖縄の歴史をコンパクトに分かりやすくまとめました。大人も子どもも楽しみながら琉球史を学べる一冊です。

精霊の守り人

著/上橋菜穂子
発行/新潮文庫



30歳の女用心棒バルサを主人公に、人の世界と精霊の世界を描き、様々な賞を取ったハイファンタジーです。

フェンスに吹く風

著/又吉弦貴・吉田啓
発行/音羽出版



「沖縄にはなぜフェンスがあるの？」女子中学生の素朴な疑問が音楽劇「フェンスに吹く風」の原作に、そしてこの音楽劇が小説化。

【開館案内】

平良図書館

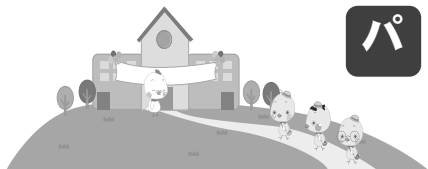
【平日】午前10時～午後7時
(児童室は6時まで)
【土曜日】午前10時～午後6時
【日曜日】午前10時～午後5時
【休館日】毎週月曜日(北分館のみ毎週火曜日)
※祝祭日は3館とも休館になります。

北分館・城辺図書館

午前10時～午後6時
午前10時～午後6時
午前10時～午後5時



【お問合せ】
平良図書館(72-2235)
北分館(72-2317)
城辺図書館(77-8813)



パニパニ☆スクール

市内小中学校で児童・生徒が元気に取り組んでいる様々なユニークな活動や取組を紹介するコーナーです。今回は、福嶺中、下地中をご紹介します。

福嶺中学校

「桃源郷プロジェクト」バイオエタノール生産設備見学 新エネルギーを学ぼう



福嶺中学校では、ユートピアプロジェクトと称し宮古島の文化財・歴史・自然・方言・人物・芸能・産業を学ぶ活動を行っており、6月10日(火)第8回ユートピアプロジェクトにおいて「新エネルギーを学ぼう」というテーマのもと、バイオエタノール生産設備の見学を行いました。

バイオエタノールとはバイオ(植物や微生物)から作られたエタノール(アルコール)のことを言います。宮古島ではさとうきびから砂糖を作る時に出来る糖蜜を使ってバイオエタノールを作っているそうです。そのエネルギーは太陽光や風力などと同じ再生可能エネルギーの一つになります。

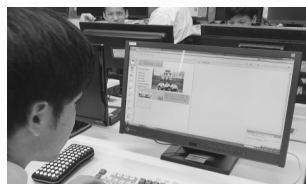
そのバイオエタノール3%にガソリン97%を混ぜて作った燃料がE3燃料だという事も分かりました。

また施設ではバイオエタノールを作る過程で出来る物質から液肥などの製品も開発しており、早速ですが液肥を購入し、まずは〜と授業で使っています。

← 大きく育ったナスビ。これは液肥のおかげ…かな？

下地中学校

ゴマの可能性を探る 下地中ブランドのゴマが市場を席巻するのも近い?! ～情報の共有と協働の作業を通して～



足元の産業を見つめ、新たな地元の特産品の開発、さらに、それをもとにした加工品販売や拡大など、未来への大きな可能性を秘めたプロジェクトがスタートしました。

これは、沖縄県立宮古総合実業高校(以下、総実高)の呼びかけがきっかけで始まった「ゴマの栽培」の共同研究です。総実高は、生物生産科植物生産コースの生徒8名、本校は1年生の総合学習の時間を中心に研究を進めていきます。

5月26日には、双方の校長先生が同席し、「農業に関する交流学习協定締結」を行い、研究が本格的にスタートしました。

締結式後、第1回の学習会を行いました。総実高の先輩8名からゴマの現状、特性、効用等について説明していただきました。その中で、日本のゴマは99.9%が輸入である事、ゴマの油はとても健康に良い事、更に、サトウキビの間作として十分換金作物になり得る事等の説明がありました。最後にはサプライズで高校生達がゴマを使用して調理したシフォンケーキと芋餅ゴマ団子の試食があり、生徒達は歓声をあげておいしくいただきました。

6月2日には、すでに総実高の先輩が大型トラクターで耕し、土壌が整った学校農園に、種まきをしました。ここでも、先輩方から種の紹介、種まきの方法、その後の管理方法等の説明がありました。これからは、毎日の灌水管理を通して、成長過程の記録をとりながら研究を進めていきます。この研究のまとめや情報交換等は、過去三年間のICT実証検証で培った実績を活用します。それは、インターネット上の協働学習支援ソフト(JR四国コラボノート)を利用し、観察記録や総実高の先輩方への質問を書き込みます。さらに総実高ではその質問等への返答や助言もコラボノートに書き込む事で情報の共有や協働の作業を行うことができます。

パニパニ番外編

読書を通して自分の世界を広げよう 下地敏彦市長より図書贈呈



7月2日(水)市中央公民館2階研修室において、下地敏彦宮古島市長より市内の全小中学校へ図書の贈呈がありました。

下地市長からは、「本の中にはたくさんの世界が広がっている。読書を通してたくさんの世界に触れる事でその中にある色々な事に興味を持って、皆さんの世界を広げて欲しい。図書の選択にはたくさんの方々の意見を取り入れ、いま、宮古島の子ども達に読んで欲しいものを選んだ。」と、児童生徒への熱いメッセージが伝えられました。

また、図書選定に携わった“ありんこ文庫”の池城さんを通じて、宇宙飛行士の毛利衛さんから宮古島の子ども達へ向けたメッセージも届けられました。

各小中学校から集まった児童生徒を代表して、東小学校6年生の友利璃音杏さんからは、「素敵な本と素敵なメッセージをありがとうございました。」と感謝の言葉が述べられました。児童生徒の皆さんは市長から贈呈されたたくさんの図書を前にして、嬉しそうに手にとっていました。

神様と鬼の知恵くらべ 「鬼の杵、神の杵」

宮古島市内に所在する御嶽は、平成二十三年度に実施した分布調査の結果、約八四〇件も確認されています。そして、その一つ一つに伝承や由来があるのです。

今回は、日本むかし話のいわゆる「三枚のおふだ」に似た口碑のある文化財を紹介いたします。

城辺地区七又集落の畑に、「鬼の杵、神の杵」と呼ばれている二本の石柱がぼつんと立っています。この石柱には、近くに所在する「ナイカニ御嶽」の神にまつわる伝承が残っています。

むかし、保良に住む婦人が平良での布の貢納検分に時間がかかり、帰路は夜になってしまいました。辺りが暗くなり困っていると、闇夜の中に家の灯りを見つけました。婦人はホッとして「ごめんください」と灯りを訪ねましたが、中から出てきたのはなんと鬼だったのです。「パランズマミ（太った落花生）がやってきた」と鬼は大喜びで中に招き入れられました。鬼の家では、カマドに大鍋がのせられ、何か煮ている最中で、よく見ると人の手や足が煮込まれていました。婦人はなんとかここから逃げださなければと考え、用を足したので外の便所に行かせてほしいと頼みました。鬼はしぶしぶ許しましたが、それではと婦人の足に縄を結んでから外に出しました。婦人は、この機会を逃しては二度と助からないと考え、「まだか、まだか」との鬼の問いに「まだ、もう少し」と返事をしながら足

の縄をほどき、近くの木にそれを結ぶと一目散に逃げ出しました。返事がなくなったことで慌てて外に出てきた鬼は、便所に婦人がいないのを知ると暗闇の中で彼女を追いかけてきました。鬼の家からどうにか逃げ出した婦人は、転がるように近くのナイカニ御嶽に逃げ込み、神さまに助けを求めました。鬼はそこら中を駆けまわり、婦人の姿がないことからナイカニ御嶽に飛ぶようにやってきて、御嶽の神さまに「女を出せ」と迫りました。神さまは、婦人を自分の着物の中に隠し、鬼と知恵比べをすることにしました。石の杵を天高く投げ挙げ、地に立った方が勝ちというものでした。神さまは「お前が勝つてば女を出す、私が勝つたらお前の首をもらうぞ」と条件を出しました。結果、神さまの杵は見事に立ち、鬼の杵は倒れてしまいました。約束どおり鬼の首を取った神さまは、これをクバの葉で巻くと「宮古の地にクバの葉が青々と茂るうち二度と戻ってくるな」といつて天に帰したと言います。



左側の石柱が神の杵、右側が鬼の杵

市教育委員会 史跡巡りに行ってきました

6月6日(金)、市教育委員会では宮古島の文化財の認識を更に深めるため、史跡巡りを行いました。

当日は雨模様のなか、県指定天然記念物「東平安名岬の隆起珊瑚礁海岸風礁植物群落」、市指定天然記念物「飛鳥御嶽の植物群落」、国指定重要文化財「豊見親墓」など、合計10カ所の史跡を生涯学習振興課文化財係の新城主任主事の説明を受けながら巡りました。

コースの中には「鬼の杵、神の杵」のような指定を受けていない文化財も多く紹介されていました。

地域の人々によって語り継がれ、そして現在も大切に守られている文化財を、長く後世に残す文化財保護の取り組みの重要性を改めて感じる機会となりました。

次回は下地地区、上野地区の史跡巡りも計画されています。



東平安名崎



豊見親墓



飛鳥御嶽

宮古島市こども劇団「はしり星にのって」東京公演に向けて



1月にマティダ市民劇場で初のオリジナル創作劇「はしり星にのって～あの空となり海となり～」の公演を行った宮古島市こども劇団。夏休みに入ってすぐの7月26・27日の両日に東京都杉並区の“座・高円寺”で行われる東京公演に向けて一生懸命稽古に励んでいます。



取材に訪れたこの日、小学5年生～高校2年生までの団員が楽しそうに演技の練習に取り組んでいました。踊りの練習では、舞踊の先生の指導を受けながら、また、メンバー同士でアドバイスをしながら、一つ一つの動きを確認していました。歌の練習では、歌詞の意味を各自が理解して歌う事の大切さや、目線をどこに置くかなど、意見を出し合いながらの練習でした。団員の副リーダー下地萌音さんによると、通常稽古は週に1回という事で、限られた時間で個々の課題を見つけ出し、次の稽古までの個人練習でその課題をクリアしてくるよう心にかけている事や、リーダー以外にもそれぞれに劇団での役割や責任を持たせ、次期リーダーの育成をする事で、子ども劇団の継続を願っている事などを話してくれました。



新メンバーの募集は、次回9月を予定しているとの事です。

(財)下地玄信育英会 寄付金贈呈

5月27日(火)市長室にて、(財)下地玄信育英会寄付金贈呈式が行われ、同財団の與座勇吉理事長より下地敏彦宮古島市長に財団の解散に伴う残余財産4,090万円が贈呈されました。

同財団は昭和50年発足以来、宮古島市出身の大学生及び大学院生に奨学金を給付する育英事業を行っており、平成25年度までに69名の学生に奨学金を給付し人材育成に大きな功績を残してきたが、昨年11月に財団の目的は達成された等の理由により解散しました。

贈呈を受けた下地市長は「故・下地玄信氏の遺志を大切に、宮古島市の青少年健全育成に役立てたい。」と感謝を表しました。



下地玄信(しもじげんしん)
1894-1984
旧平良市出身。
民間人でも最も重い日本公認会計士協会初代副会長などを歴任。
昭和34年黄綬褒章受章。
昭和46年旧平良市名誉市民。
「下地玄信文庫」を設け、昭和50年「下地玄信育英会」を創設。

慰霊の日関連特別展 戦争とは何か～モノから考える～



市総合博物館では6月6日(金)～27日(金)までの期間、慰霊の日に関連させ特別展示を開催しました。

今回の展示は、博物館に収蔵されている戦争に関するモノ(資料)を展示、紹介し、一つ一つのモノをじっくり観察しながら「なぜここにあるのか?」、「なぜこのような形になったのか?」、「どのような使い方をするのか?」など来館者の皆様にモノを通して「戦争とは何か」を考えていただく内容となっていました。

また、6月14日(土)には関連行事「宮古南静園の戦跡見学と講話」を開催しました。

まず、知念正勝氏による講話「ハンセン病とは」から始まり、次に亀浜玲子氏による講話「ハンセン病隔離と宮古南静園の戦争被害」、そして上里栄氏による「私の戦争体験」をお話いただいたあとに、戦時下で入所者が避難した海岸線の壕(ぬすとぬがマトンネル壕)を見学しました。

最後に、参加者全員で納骨堂前で黙祷とまとめの会をしました。





平成26年度海外ホームステイ事業補助金交付式

6月26日(木)に城辺庁舎にて「平成26年度宮古島市海外ホームステイ派遣事業補助金交付式」を行い、17名の生徒(中学生12名・高校生5名)に補助金が交付されました。

宮國博教育長は「カルチャーショックも楽しみながら、文化の違いや互いの国の良さを学び、将来に生かしてほしい」とエールを送り、「これから宮古を背負っていく皆さんの活躍に期待している」と激励しました。派遣生徒は「英語力を身につけたい」「現地の人々の暮らしに触れる中でコミュニケーション能力を高め、将来の人生の選択肢の幅を広げられるようにしたい」「ホームステイを通して自分の国の良さ、相手の国の良さを知り、人生や将来の職業に生かしたい」など、それぞれがハワイ州でのプログラムに向けて抱負を発表しました。

ハワイ州オアフ島・マウイ島にて8月17日(日)～29日(金)の13日間の日程で、英会話レッスンやスクール体験、ホームステイなどで英語や異文化に触れる予定です。

平成26年度教育委員会の開催状況

第2回教育委員会定例会(5月29日)、第3回臨時会(6月9日)、第3回定例会(6月26日)が開催されました。第2回定例会では、体育施設職員の勤務時間に関する規則の一部改正、宮古島市博物館協議会委員の任命、宮古島市史編さん委員会委員の委嘱等について審議され原案のとおり可決されました。

また、第3回臨時会では、宮古島市立学校規模適正化基本方針の見直し(平成25年4月決定)の一部見直しについての議案を審議しました。

伊良部・佐良浜の小中学校4校を小中一貫校として新設することを求めた「伊良部島の新しい学校をつくる会」からの要請、伊良部小学校PTAからの嘆願書を受け、基本方針を見直す提案について、委員から「佐良浜側の意見を聞く必要がある」等の理由により継続審議となりました。

また、第3回定例会では、第3回臨時会で継続審議となった学校規模適正化基本方針の一部見直し案について審議され、全会一致で可決となりました。



夏休み 親子・子ども向け講座・教室一覧

※詳細については各公民館へお問合せください。

教室名	対象	日程	時間	場所/お問合せ先
島講座 「民話の旅に出かけよう」	小学生以上	7月19日～8月23日までの 毎週土曜日	10:00～11:00	中央公民館(73-1123)
書道教室	小学生	7月19,26日、8月2,9,12,16,19, 23,26,30日 全10回	10:00～12:00	城辺公民館(77-4903)
夏休み児童絵画講座	小学生	7月23～27日 全5回	13:30～15:30	〃
夏休み子ども絵画講座	児童生徒	8月12,13,15,16,17日 全5回	10:00～12:00	久松地区公民館(72-7997)
サマー絵画講座	小4～小6	7月29～31,8月1,2,5,6,7日 全8回	10:00～12:00	西原地区公民館(72-1732)
親子陶芸講座	幼稚園～小学生親子	7月26, 27日	10:00～12:00	上野公民館(76-2483)
夏休み絵画講座	小1～小3	7月29日～8月2日	9:00～11:00	上野公民館(76-2483)
親子陶芸教室	親子	8月12日～15日	19:00～21:00	下地公民館(76-6017)
親子茶道	小・中・高生と親子	8月16,17,22, 23, 24日	14:00～16:00	〃
絵画教室	児童生徒	8月12～16日	10:00～12:00	伊良部公民館(78-3558)

8月・9月の行事予定

- 第27回関連講演「外来種について」
8月3日(日) / 市総合博物館
- 第3回子ども博物館
文化財巡り文化財を描いてみよう
8月16日(土)・17日(日) / 市総合博物館
- 第3回子ども博物館
イキ料理 昔のおかし
8月28日(日) / 市総合博物館
- 納涼お祭り
8月16日(土) / 平民図書館

その他の行事予定

- マニタ市民劇場「ミニシアター」
舞台「つひのおもひ」/ 講座
7月27日(日) / マニタ市民劇場
- 子ども劇団東京公演
はしり星になって～あの空となり海となり
7月26日(土)・27日(日)
東京都杉並区 座・高田寺1
- おはなしたまはなはな
平民図書館 / 毎週土曜日
城辺図書館 / 第一日曜日

市総合体育館・陸上競技場利用スケジュール

H26.7.11現在

市総合体育館

8/3(日)	宮古体育大会 卓球競技
8/16(土)	宮古体育大会 リハーサル
8/17(日)	宮古体育大会 開会式 バドミントン競技
8/23(土)・24(日)	宮古体育大会 ハンドボール競技
8/30(土)	第1回砂川節子杯ラージボール大会
8/31(日)	第14回毎日新聞社杯レディースバド大会
9/7(日)	第38回総合シングルスバド大会
9/20(土)	高体連新人バド大会
9/28(日)	第17回バタフライ杯ダブルス卓球大会

陸上競技場

8/8(金)～10(日)	陸上教室(宮古島市陸上競技協会)
8/17(日)	宮古体育大会 サッカー競技
8/24(日)	宮古体育大会 サッカー競技
9/10(水)	高体連秋季陸上競技大会
9/24(水)	第22回宮古地区老連GG大会

施設使用の詳細は、市民スポーツ課までお問い合わせ下さい
市民スポーツ課 ☎73-4469 (月曜休み)

子育てや学校生活で悩んでいませんか?

教育研究所では、学校や家庭で悩みがある児童・生徒、その保護者、または学校職員や教育関係者の相談・支援をいたします。

教育相談室 ☎ 77-4955

※相談等で話したことが、外部にもれることはありません。

【受付】 月～金曜日(祝祭日除く) 午前8時30分～午後4時30分
【所在地】 下地字上地472-39 下地庁舎内
※来所相談・訪問相談も可能です。(要連絡)